|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 国語 | 学年 | １年 |
| 単元名 | | くちばし | | |
| 本  時 | 目標 | 情報に関する技能を育てる。 | | |
| 目標リスト | 基B３　（育成）  複数のカードをつなげることができる。 | | |

１年　国語科　授業活用例

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １ | 鳥やくちばしに興味をもって説明文を読む。 | 教師の撮影したくちばしの写真をロイロノートでクイズに出す。 |
| ２ | 体験や知っていることと結び付けながら全文を音読する。 |  |
| ３ | きつつきのくちばしについて、「問い」と「答え」を捉えて読む。 | 教科書の写真に、「問い」と「答え」を色別でサイドラインを引かせる。 |
| ４ | おうむのくちばしについて、「問い」と「答え」を捉えて読む。 | 第３時と同じ |
| ５ | はちどりのくちばしについて、「問い」と「答え」を捉えて読む。 | 第３時と同じ |
| ６  **本時** | 児童が見つけたくちばしの写真を「問い」と「答え」の形式のクイズのカードを作る。 | 撮影した写真を拡大したり、トリミングしたりする。  カードをつなげる。基B3 |
| ７ | 作った写真のカードを使って、クイズ大会を開く。 | クイズをロイロノートに提出する。基B４ |
| ８ | 興味を持ったくちばしを選び、理由を伝えあう。 |  |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇自分で撮影した写真をトリミングしたり、拡大したりすることで必要な部分を分かりやすく取り出すことができる。また、数枚のカードをつなぎ、クイズ形式に近づく楽しさを味わうことができる。  〇スクリーンショットを使うことにより、欲しい画面をタブレットに取り込むことができる。  ●操作技術が困難なときは、無理をしなくてよいことを伝える。 |

１年　音楽科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 音楽 | 学年 | １年 |
| 単元名 | | みのまわりのおとにみみをすまそう | | |
| 本  時 | 目標 | 必要な情報を収集、整理、分析、表現する力を育てる。 | | |
| 目標リスト | 探A２（育成）  カメラや音声の録音を使って、身近な情報を収集することができる。 | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １ | 教師が出す楽器やものの音あてクイズをする。  ・「耳を澄ます」とはどういうことか知らせる。 | 教師が「GarageBand」から楽器の音を出す。  （アプリ活用） |
| ２  **本時** | 学校の中で聞こえる身の回りの音を見つけ、タブレットで録音する。  ・見つけた音を再生し、聞こえた音を言葉や絵、声、動きなどで表す。  ・ペアで、クイズ形式で聞こえた音の紹介をする。 | ボイスメモの録音と再生をする。  探A２ |
| ３ | 前時で紹介した音を思い出して、ペアの友達と呼びかけと答えを活用して、声遊びをする。  ・まねっこや呼びかけ合い | ボイスメモの録音と再生をする。探A２ |
| ４ | ペアで紹介した音の声遊びを全体で発表し、共有し合う。 | 声遊びをロイロノートに提出する。基B4 |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇聞き取りづらい音をタブレットで容易に録音し、いつでも再生して聞き取ることができる。  〇様々な音を収集し保存することができる。  〇ミラーリングをすることで、クラス全体で共有することができる。  ●操作技術が困難なときは、無理をしなくてよいことを伝える。  ●録音操作が不安定な場合は、タブレットを三脚で固定できることを伝える。 |

２年　算数科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 算数 | 学年 | ２年 |
| 単元名 | | 長さをはかってあらわそう | | |
| 本  時 | 目標 | 情報と情報技術の特性の理解を深める。 | | |
| 目標リスト | 基B１　カードを開き文字入力ができる。（発揮）  基B４　カードを先生や友達に送ることができる。（育成） | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １ | 3本の鉛筆の長さの長短を予想し、長さを比較する方法を考えさせる。 |  |
| ２ | 普遍単位の必要性に気付き、長さの単位「センチメートル（cm）」を知る。 |  |
| ３ | 葉書の縦の長さをはかり、1cm未満の長さの表し方を考える。 |  |
| ４ | 1cm＝10mmの関係を確認する。 | 教科書のものさしの目盛りを読む問題を写真に撮り、「拡大」を活用し、目盛りの読み方をたしかめる。 |
| ５ | 物差しの目盛りを読む練習をする。  物差しを使って、いろいろなものの長さをはかる。 |  |
| ６ | ・「直線」の意味を知る。  ・「センチメートル（cm）」，「ミリメートル（mm）」を用いて，直線の長さを表す。 | タブレットで配付した課題を解き、全体で答え合わせを行う。その結果を用い、ミスしやすい問題の傾向や対策について、みんなで意見を共有する。（画面共有の活用） |
| ７ | 折れ線全体の長さや2本の折れ線の長さの差を，加減計算を適用して求める。 |  |
| ８  **本時** | まとめのプリントに取り組む。 | タブレットでプリントを配布し、手書きで記入させ、提出させる。基B１　基B４ |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇送られてきたカードを必要に応じて拡大して記入することができる。  〇手書きで解答を記入してすぐに提出できる。  〇回答共有することで、友達の解答と自分の解答を比較することができる。  ●小さくて書きづらい時には拡大できることを助言する。 |

２年　生活科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 生活 | 学年 | ２年 |
| 単元名 | | どきどき　わくわく　町たんけん | | |
| 本  時 | 目標 | 責任をもって適切に情報を扱おうとする態度を育てる。 | | |
| 目標リスト | モA１（育成）  写真を撮るときや音声を録音するときには許可を得ることができる。 | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １ | まちのことを　話そう  Google earthを用いて、市の様子や学校周辺を見てみよう。気づいたことを話そう。 | Google earthを使い、  上空から町の様子を見てみる。（アプリ活用） |
| ２ | まちたんけんの計画をたてよう |  |
| ３ | まちたんけんの準備をしよう  ・まちで何が見つかるかな？（予想をする）  ・インタビュー先でききたいこと | インタビューの様子を、  動画で撮影する。動画を見て振り返る。探A2 |
| ４ | ・インタビューの仕方 | 第３時と同じ　A2 |
| ５ | ・地図でルートを決めよう。  ・写真の機能について | ・写真の撮影、機能  ・写真の選別、削除 |
| ６  本時 | 写真の撮り方、マナーについて知ろう。  ・写真を撮る時のきまりを振り返る（何を知っているか）  ・Eテレ「しまった！」を見て、更に考える。 | ・写真の扱い、撮影のモラルやマナーについて学ぶ　モA1 |
| ７ | まちたんけんに　いこう | タブレットを用いての写真撮影。基A2 |
| ８ | 見つけたことを　教え合おう  ・発表する順に写真をつなげ、ロイロノートでみんなに知らせる。 | ・写真のトリミング  ・ロイロノートで撮影した写真をつなぎ、見つけたことを発表する。  基A3　基B3、４ |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇情報収集の時のルールやマナーを実際の見学の場面を想起して学習することができる。  〇ロイロノートで写真をつなげ、スライドを用いて自分の発見を紹介できる。  ●操作技術が困難なときは、無理をしなくてよいことを伝える。 |

２年　図画工作科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 図画工作科 | 学年 | ２年 |
| 単元名 | | カッターナイフタワー | | |
| 本  時 | 目標 | 情報に関する技能を育てる。 | | |
| 目標リスト | 基A２　（発揮）  カメラ機能を使って写真を撮ることができる  基A３　（育成）  動画の撮影ができる | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １  ２  **本時** | カッターナイフの正しい使い方や安全面を学ぶ。  切り抜きや切り起こしの練習をする。 | ・既定の練習用画用紙をカッターナイフで切る様子を動画で撮影する。基A３ |
| ３  ４  ５ | カッターナイフで画用紙を切り抜いてタワーをつくる。 | ・制作の途中々々で作品を写真撮影し、それらをつなげ、完成までのプロセスが見えるようにする。基A３ |
| ６ | 友達の作品と並べて、お互いの作品の良さを味わう。 | ・完成までのプロセス写真を見ながら、自己の活動を振り返る。  ・第1時と同じ既定の練習用画用紙をカッターナイフで切る様子を動画で撮影し、第1時の動画と見比べる。基A３ |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇動画を活用することで、自分の道具の使い方を客観的に見ることができる。  〇自分の道具を使う様子を撮影した動画を見ることにより、使い方の課題を知り、修正することができる。  〇継続的に道具を使う様子を撮影し、見比べることにより、上達を実感し、喜びを味わうことができる。  〇評価ツールとしてのタブレット活用となる。  ●児童にとっては良い道具の使い方を撮影することが目的となりがちなので、課題を見つけるための撮影であることを意識させる必要がある。 |

３年　理科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 理科 | 学年 | ３年 |
| 単元名 | | 音のせいしつ | | |
| 本  時 | 目標 | 情報に関する技能を育てる。 | | |
| 目標リスト | 基A３（発揮）  動画の撮影ができる  基A６（育成）  動画の再生スピードを変えることができる | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １ | 音が出ているもののようすについて、話し合ってみよう。 | タブレット写真で記録する。  基A2 |
| ２  **本**  **時** | 音が伝わるとき、もののようすはどうなっているのだろうか。  実験１ 音が出ているもののようす。  見えない音を見えるように工夫してみよう。 | 写真や動画で記録する。  スロー再生して、「ふるえ」「しんどう」を見えるようにする。　　　基A３ |
| ３  ４ | 糸電話や楽器に糸をつなげてみよう。  実験２ 音がつたわるときのもののようす。 | 動画で実験の様子を記録する。  基A６ |
| ５ | まとめ |  |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇動画をスロー再生することで、振動の様子を確認することができる。  〇実験の様子を写真や動画で記録することで、考察するときや振りかえりの場面で活用することができる。  ●撮影に夢中になってけがをしないように注意させる。 |

３年　体育科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 体育 | 学年 | ３年 |
| 単元名 | | かけっこ・リレー | | |
| 本  時 | 目標 | 情報に関する技能を育てる。 | | |
| 目標リスト | 基A３　（発揮）　動画の撮影ができる  基A６　（育成）　動画の再生スピードを変えることができる | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １ | ５０ｍ走を思いっ切り走ろう。 | スタートを教員が撮影し、低い姿勢を意識させる。 |
| ２ | リレーのルールを知ろう。 | チーム分け・リーダーをロイロノートで知らせる。 |
| ３ | バトンゾーンでバトンパスを成功させよう。 | 教師が撮影し、いいバトンパスを例示する。  自主学習で動画を見ながらいいバトンパスの条件についてまとめる。 |
| ４ | カーブの走り方を工夫しよう。 |  |
| ５  **本時** | バトンパスが上手くいくよう工夫しよう。 | スピードを落とさずバトンパスができているか動画を撮影して確認する。 |
| ６ | チームのタイムを縮めよう。 |  |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇動画を使うことで、自分の動きを客観的に見ることができる。  〇動画の再生スピードを変えることにより、より丁寧にアドバイスをすることができる。  〇動画を見ることにより、スタート位置を細かく変更することができる。  〇自分の動画を比較することにより、上達に気づくことができる。  ●近くから撮影すると、バトンパスの全景が撮れないので距離とって撮影させる。  ●動画を撮ったり見たりすることに夢中になると、運動量が減りがちなので運動量が確保できるように留意する。 |

３年　総合的な学習の時間　授業活用例

単元計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 総合的な学習の時間  図画工作の合科 | 学年 | ３年 |
| 単元名 | | embotでプログラミングに挑戦 | | |
| 本  時 | 目標 | 試行錯誤し、計画を改善しようとする態度を育てる。 | | |
| 目標リスト | プA３　（育成）  自分で意図したことを試行錯誤して表現することができる。 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １  ２ | embotを組み立てる。 | 組み立て方を動画で確認 |
| ３ | embotを動かす。 | embotアプリを使用 |
| ４ | ブザーとライトをつける。 | embotアプリを使用 |
| ５ | 音楽を作ってみよう。 | embotアプリを使用 |
| ６ | 音楽に合わせてembotを動かす | embotアプリを使用 |
| ７  ８  ９ | イメージ図を書いて、自分の思い通りに動き、ブザー、ライトを使ってプログラムを組み立て、ロボットを動かす。 | メタモジで設計図  embotアプリを使用 |
| １０ | 振り返りと次回に向けて頑張りたいことを考える。 |  |
| １１  １２ | 条件文（if）と、繰り返し文（for）を使ってみよう。 | embotアプリを使用 |
| １３  ～  １８ | embotのモーター、ライト、ブザーを使い、プログラムを組み合わせることによって、日常生活の『もの』や『こと』を表現する。（踏切、信号）  本時１５ｈ | メタモジで設計図  embotアプリを使用 |
| １９ | 発表会を行う。 | embotアプリを使用 |
| ２０ | 振り返りと次回に向けて頑張りたいことを考える。 |  |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇自分でプログラムしたことが現実に動くことで、プログラミングの楽しさに触れることができる。  〇モーター、ライト、ブザーといった簡単なもののみを使用することによって、楽しく活動できる。  〇embotのアプリは、レベル分けしてあるので、少しずつ使い方を学ぶことができる。  〇メタモジで設計図を描くことにより、イメージを具体的に考えやすくなる。  ●プログラミングに対して苦手意識を持たせないようにグループで助け合えるようにする。 |

３年　総合的な学習の時間　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 総合的な学習の時間 | 学年 | ３年 |
| 単元名 | | プログラミングに挑戦しよう。embot | | |
| 本  時 | 目標 | 試行錯誤し、計画を改善しようとする態度を育てる。 | | |
| 目標リスト | プA３　（育成）  自分で意図したことを試行錯誤して表現することができる。 | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １  ６ | EMBOTロボットの組み立て  モーター、ライト、ブザーで簡単なプログラムに取り組む。 | タブレットアプリEMBOT　プA１ |
| ７  １０ | テーマを決めて取り組む。  試行錯誤くりかえし自分の思いを実現させる。 | タブレットアプリEMBOT　プA2 |
| １１  **本**  **時** | 発表会 | タブレットアプリEMBOT  プA３ |
| １２ | 振り返り |  |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇タブレットで動きや音のシュミレーションをすることができる。  〇プログラムと動きを確認しながら、何度も試行錯誤し自分の思いを実現することができる。  ●終了後にデバイスのスイッチを切ることを徹底する。 |

３年　学級活動　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 学級活動 | 学年 | ３年 |
| 単元名 | | はしを正しくつかおう | | |
| 本  時 | 目標 | 情報に関する技能を高める。 | | |
| 目標リスト | 基A４　（発揮）  動画の撮影ができる | | |

授業展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| ４  １０  ２５  ４０ | （１）はしについて知る。（4分）  （２）はしの持ち方を見せあう。（2分）  　　・グループ、ペア学習  （３）正しいはしの持ち方を知る。（3分）  （４）はしの使い方を練習する。（15分）  　　・ペア学習  （5）やってはいけないはしの使い方を知る。  ・はしの練習をしてみてどうだったか振り返る。  ・自分の食事の様子を振り返り、問題点を考える。  ・代表児童がワークシートに書いたまとめを発表する。 | ・間違ったはしの使い方に〇をつける。  **・動画に撮って、自分の持ち方やはしの使い方を確認する。　基A３** |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇動画を使うことで、自分の動きを客観的に見ることができる。  〇動画により丁寧にアドバイスをすることができる。  〇自分の動画を練習前後で比較することにより、上達に気づくことができる。  ●動画撮影に夢中になり、はしの使い方の練習がおろそかにならないように助言する。 |

４年　国語科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 国語 | 学年 | ４年 |
| 単元名 | | 新聞を作ろう | | |
| 本  時 | 目標 | 情報と情報技術 | | |
| 目標リスト | 基B７（育成）  簡単なアンケートを作ることができる。 | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １  **本時** | 「アンケート調査のしかた」アンケートの作り方 | ロイロノートでアンケート作る。基B７ |
| ２ | 「新聞を作ろう」①新聞の特徴を確かめる。 | アンケートを集計する。 |
| ３ | ②どんな新聞を作るかを話し合う。 |  |
| ４ | ③取材をする。 | 写真を撮って印刷する。 |
| ５ | ④わりつけについて話し合う。 |  |
| ６ | ⑤記事を書く。 |  |
| ７ | ⑥新聞を仕上げる。 | 出来上がった新聞を写真に撮ってみんなで読み合いコメントを書き込む。 |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇ロイロノートのアンケート機能を使うことで、表やグラフにすることが容易にできる。  〇目的に応じて回答の仕方を決めやすく、表やグラフが作りやすくなる。  ●問いの文章や、回答の仕方が適切かどうかの確認をする。  ●選択肢を増やす方法や自由記述欄の活用の仕方について助言する。 |

４年　社会科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 社会 | 学年 | ４年 |
| 単元名 | | ごみ処理の仕方 | | |
| 本  時 | 目標 | 必要な情報を収集、整理、分析表現する力を育てる。 | | |
| 目標リスト | 探A５（育成）  シンキングツールを使って比較・分類し、情報の特徴や傾向から自分の考えを持つことができる。 | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １ | 自分たちが出したごみはどのように処理されているか予想してみよう。 |  |
| ２ | 家庭から出るごみはどんなゴミがどれくらいあるか調べよう。 | インターネット検索 |
| ３  **本時** | ごみの種類を仲間分けしてみよう。  （シンキングツールを使って仲間分けをしてみよう。） | ロイロノートのシンキングツールを使って分類する。探A５ |
| ４ | ごみ収集カレンダーについて調べよう。 |  |
| ５  ６ | クリーンセンターについて調べよう。 | インターネット検索 |
| ７ | ごみを減らすためにはどうしたらよいか考えよう。 | インターネット検索 |
| ８ | まとめ |  |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇ロイロノートのシンキングツールを使うことで、ごみの種類を分類整理することができる。  〇友達が分類整理した図と自分の図を比較することが容易にできる。  ●分類整理するだけで終わらせないで、なぜ、このようになっているのかを考えさせる。 |

４年　図画工作科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 図工 | 学年 | ４年 |
| 単元名 | | 木々を見つめて | | |
| 本  時 | 目標 | 必要な情報を収集、整理、分析表現する力を育てる。 | | |
| 目標リスト | 探B２（発揮）  カードに線を入れたり、色を付けたりして、自分が大事だと思うことを発表することができる。 | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １ | 校内で見つけた木の写真を撮り、タブレットに保存する。幹に触ったり、抱きついたり、においをかいだりする。アップの写真も撮っておく。どんな様子か感じたことを言葉でも書き表す。 | タブレットで写真撮影 |
| ２ | 幹と枝を画用紙に描く。木のなるべく近くから見上げて、鉛筆で輪郭を丁寧に描く。 |  |
| ３  ４  ５ | 描き表したい木に合わせてどんな色にするか考え色をつけておく。**本時**  幹の様子を丁寧に見て、鉛筆で描き、色を塗る。  葉を描き、周りに付け足したいことを描く。 | ・自分の木の特徴や描き表したかったことをタブレットの写真で確認する。**探B２** |
| ６ | 友達の作品を鑑賞する。 |  |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇撮った写真を簡単に拡大して見ることができる。  〇タブレットのミラーリング機能で、写真を見合うことができる。  ●自分が木を見て感じたことを表現できるように、タブレットの写真を見て思い出すように助言する。 |

５年　社会科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 社会 | 学年 | ５年 |
| 単元名 | | 低い土地のくらし／高い土地のくらし | | |
| 本  時 | 目標 | 必要な情報を収集、整理、分析、表現する力を育てる。 | | |
| 目標リスト | 探B４（育成）  友達や先生とカードのやり取りをしてグループやペアで協力して発表資料を改善することができる。 | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １ | 低い土地のくらしと高い土地のくらしについて調べて、どちらを選ぶか決める。 | インターネット検索 |
| ２ | 低い土地のくらしを調べるグループと高い土地のくらし調べるグループを作り、プレゼンテーションをするための計画を立てる。 | インターネット検索 |
| ３  ４ | それぞれのグループで分担して、調べ学習をする。 | インターネット検索 |
| ５  ６  **本時** | あ互いに調べたことをカードにまとめ、原稿やカードのやり取りをしながら、プレゼンテーションを作成する。 | インターネット検索  ロイロノート生徒間通信  **探B４** |
| ７ | グループごとにプレゼンテーションを発表する。  （１グループ　5分程度） | ロイロノートでプレゼンテーション |
| ８ | プレゼンテーションについて振り返りをする。  （計画、情報収集、整理、分析の仕方等） |  |
| ７ | まとめ |  |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇インターネットで収集した写真や資料をカードにしてプレゼンテーションの資料にすることができる。  〇ロイロノートの生徒間通信の機能を使うことで、分担して作成したカードをグループで共有することができる。  ●生徒間通信をする場合は、相手にわかりやすいかなどを考えたやり取りができるようにする。 |

５年　算数科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 算数 | 学年 | ５年 |
| 単元名 | | ならした大きさを考えよう | | |
| 本  時 | 目標 | 必要な情報を収集、整理、分析、表現する力を育てる。 | | |
| 目標リスト | 基A９（育成）  表計算ソフトで簡単なグラフを作ることができる。 | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間・日時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １ | ならした大きさに着目し、平均の求め方を考える。  平均の意味や数量の関係に着目し、全体量の求め方を考える。 | ロイロノートのカード |
| ２ | 資料に０がある場合の平均の求め方を考え、分離量でも小数で表すことがあることを理解する。 | ロイロノートのカード |
| ３  **本時** | 学習内容の生活への活用①  自分の歩く１歩分の距離を、10歩分進んだ距離を３回測定し、その結果から平均値を求め、身近な場所までの距離を自分の歩数で測定する。 | ロイロノート生徒間通信  ナンバーズ記録  表・グラフの作成 |
| ４ | 学習内容の生活への活用②  個人で求めたい平均値について調べ学習を行い、統計データに示す。（例：出席数、朝マラソン周数など）  （国語科：統計資料の読み方　と関連させる。）  まとめたものは、国語の授業で発表する。 | ロイロノートのカード・シンキングツール  ナンバーズ記録  表・グラフの作成 |
| ５ | 学習内容の習熟・定着  教科書ｐ27「たしかめよう」の問題を解く。  計算ドリルの問題を解く。 | ロイロノートのカード・シンキングツール  メタモジで計算メモを書く |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇シンキングツールを使うことで、自分の考えを整理してまとめることができる。  〇考える際にカードを用いることで収集した情報を視覚的にわかりやすく得ることができる。  〇ナンバーズを使うことで、計測したデータを表にまとめておくことができる。  〇修正などが簡単に短時間にできることで、比較検討の時間を確保することができる。  ●タブレットを使ってデータ集計に取り組むと、個人作業になり会話が減ることが予想される。教師が適宜介入し、作業の途中で困っていることについて聴き、全体で解決する時間をとる。 |

５年　家庭科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 家庭科 | 学年 | ５年 |
| 単元名 | | 整理・整とんで快適に | | |
| 本  時 | 目標 | 必要な情報を収集、整理、分析表現する力を育てる。 | | |
| 目標リスト | 探A９  他の教科でも使えるように、資料箱のマイフォルダにフォルダを作り、必要なファイルを保存することができる。 | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １ | なぜ、整理整とんをするのかを考える。それぞれの考えを共有し、学校内で整理整とんされている場所の写真を撮ってくる。 | ・ロイロノートで写真撮  　影 |
| ２ | 整理整とんの手順を考え、計画を立てる。 | ・ロイロノートのシンキ  ングツール |
| ３ | 整理整とんをしよう。  ～ロッカー・自分の机のまわり～ | ・ロイロノートで写真撮  　影 |
| ４  **本時** | 整理整とんをしよう。（ジャンプの課題）  ～タブレットの写真・ロイロノート内の整理整とん～ | ・ロイロノート（資料箱）  写真フォルダ　探A９ |
| ５ | 物のつかい方を工夫しよう。 | ・シンキングツールで分類整理する。 |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇整理整頓がされている場所の写真を撮影することで、自分の持ち物を見直すことができる。  また、危険物の管理方法を意識することができる。  〇ロイロノートのシンキングツールを活用することで、自分の考えをわかりやすくまとめることができる。  ●ロイロノートのカードを使用する場合、「快適」「安全」「環境」などを色別で分けるように指導する。 |

５年　総合的な学習の時間　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 総合的な学習の時間 | 学年 | ５年 |
| 単元名 | | プログラミングに挑戦しよう。スクラッチとレゴ | | |
| 本  時 | 目標 | 試行錯誤し、計画を改善しようとする態度を育てる。 | | |
| 目標リスト | プB３（育成）  スクラッチと連携させて課題に取り組むことができる。 | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １  ６ | プロジェクト入門の組み立て  レゴ基礎プロジェクト  スクラッチと連携させて作動させてみる。 | タブレットWedo2.0  ノートPCでスクラッチと連携 |
| ７  １０ | 発展プロジェクトに挑戦  テーマを決めて、グループで取り組む。  試行錯誤くりかえしテーマを実現させる。 | ノートPCでスクラッチと連携させる。 |
| １１  １２ | 発展プロジェクト発表会　**本時**  振り返り | ノートPCでスクラッチと連携させる。**プB3** |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇スクラッチと連携させることで、スクラッチのプログラミング学習で学んだことをレゴの活動に生かすことができる。  〇スクラッチと連携させることで、PCでのスクラッチの画面の動きや音声と連携してプログラミング活動ができる。  ●タブレットではスクラッチと連携させることができないので、ノートPCでスクラッチと連携させる。  ●ペアで取り組ませることで、プログラミングが苦手な児童も意欲的に取り組めるように配慮する。 |

６年　算数科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 算数 | 学年 | ６年 |
| 単元名 | | 順序よく整理して調べよう | | |
| 本時 | 目標 | 多角的に情報を検討する態度を育てる。 | | |
| 目標リスト | 探B２（発揮）  カードに線を入れたり、色を付けたりして自分が大事だと思うことを発表することができる。 | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １ | 順列について、落ちや重なりのないように調べる方法を考え、図や表などを用いて調べることができる。 | ロイロノート提出箱へ提出 |
| ２ | 順列について、落ちや重なりのないように調べる方法について理解を深める。 |  |
| ３  **本時** | 順列について、落ちや重なりのないように調べる方法について理解を深める。   1. メダルを３枚投げて、表と裏の出る場合は何通りになるか。 2. 1円10円100円1000円が１枚ずつあります。できる金額は何通りあるでしょう。 | ロイロノート提出箱へ提出  回答共有  **探B2** |
| ４ | 組み合わせについて、落ちや重なりのないように調べる方法を考え、図や表などを用いて調べることができる。 | ロイロノート提出箱へ提出 |
| ５ | 単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し、問題を解決する。 | ロイロノート提出箱へ提出 |
| ６ | 学習内容の定着を確認するとともに、数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。 | ロイロノート提出箱へ提出 |
| ７ | まとめ |  |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇問題をカードで配布することで、図を活用して問題を考えさせることができる。  〇回答共有することで、友達の考えと自分の考えを比較することができる。  ●問題の意図が理解できるように机間指導で助言する。 |

６年　図画工作科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 図工 | 学年 | ６年 |
| 単元名 | | クローズアップで見える新世界 | | |
| 本時 | 目標 | 必要な情報を収集、整理、分析、表現する力を育てる。 | | |
| 目標リスト | 探B４  友だちや先生とカードのやり取りをしてグループやペアで協力して発表資料を改善することができる。 | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １ | 校内の気に入った所の写真を撮り、タブレットで拡大してクイズを作る。 | 写真撮影と編集（拡大） |
| ２  **本時** | クイズ大会をして、気になる写真を選び、創造したことを文や絵で表す。 | ロイロノート生徒間通信  探B４ |
| ３  ４  ５ | タブレット上で、想像した場面を写真に描く。 | 拡大しながら、色や線を入れる。 |
| ６ | 友達の作品を鑑賞する。 | ロイロノート生徒間通信 |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇撮った写真の拡大や加工が簡単にできる。  〇大型テレビに映し出すことで、簡単にクイズにすることができる。  〇ロイロノートの生徒間通信の機能を使うことで、簡単に作品を見合うことができる。  ●生徒間通信をする場合は、相手にわかりやすいかなどを考えたやり取りができるようにする。  ●話したいことが増えることが考えられるので、情報を精選する必要がある。 |

６年　家庭科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 家庭科 | 学年 | ６年 |
| 単元名 | | できることを増やしてクッキング | | |
| 本  時 | 目標 | 機器の操作の仕方を身に着け、積極的に学習に活用することができる | | |
| 目標リスト | 基Ｂ８・９・１０  資料箱に必要なファイルを保存したり、取り出したりすることが  できる。  必要や目的に応じてアンケートやテストを作ることができる。  録音した音声や動画の編集ができる。 | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １ | 「ゆでる」と「いためる」調理の違いやよさ考え、学習の  見通しを持つ。 | 特になし |
| ２ | 調理の計画をたてる。 | 特になし |
| ３  ４ | 卵や複数の野菜を炒める。 | 調理の場面を動画で撮影  する |
| ５  **本時** | 調理実習の学習の振り返りとまとめ（クイズづくり）をする。 | 動画を使っての振り返り  学んだことを生かした  クイズを作り、送り合う |
| ６ | いためる調理を生かして理想の朝食を考える。 | インターネット検索 |
| ７ | 考えた朝食を紹介する。まとめのテストを行う。 | ロイロノートで  プレゼンテーション |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇調理の様子を動画で記録しておくことで、食材の変化・加熱時間・調味のタイミングなどを  　落ち着いて振り返ることができる。  〇分かったことを使ってクイズを作り、ロイロノートの生徒間通信の機能を使って送り合うこと  　で、学んだことをお互いに再確認することができる。  ●調理の際は、加熱したり包丁を使ったりするので、十分に安全を確保した状態で撮影をし、  　水濡れなどに気をつける。 |

６年　外国語科　授業活用例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 教科 | | 外国語 | 学年 | ６年 |
| 単元名 | | Ｕｎｉｔ３　Ｌet‘s go to Italy | | |
| 本  時 | 目標 | 必要な情報を収集、整理、分析、表現する力を育てる。 | | |
| 目標リスト | 探B４  友だちや先生とカードのやり取りをしてグループやペアで協力して発表資料を改善することができる。 | | |

単元計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習内容 | タブレットの活用 |
| １  ２ | 世界の有名な建物や食べ物などのやり取りについておおよその内容を理解する。 | インターネット検索 |
| ３  ４ | おすすめの国や地域と、その理由についてたずね合う。 | インターネット検索 |
| ５  6 | おすすめの国について互いに調べたことをカードにまとめる。  原稿やカードのやり取りをしながら、プレゼンテーションを作成する。 | インターネット検索  ロイロノート生徒間通信 |
| ７  **本時** | グループごとにプレゼンテーションを発表する。 | ロイロノートで  プレゼンテーション　　探B４ |
| ８ | 発表の振り返りとまとめテストをする。 |  |

|  |
| --- |
| タブレット活用の利点と配慮事項　　〇利点　●配慮事項 |
| 〇インターネットで収集した写真や情報をカードにしてプレゼンテーションの資料にすることができる。  〇ロイロノートの生徒間通信の機能を使うことで、分担して作成したカードをペアで共有することができる。  〇翻訳機能を活用すると、授業で学習した英語表現の他にも、児童それぞれの伝えたいことや思いを大切にすることができる。  ●生徒間通信をする場合は、相手にわかりやすいかなどを考えたやり取りができるようにする。  ●作成したカードはあくまでも補助資料であり、話す練習を十分にできるようにする。  ●話したいことが増えることが考えられるので、情報を精選する必要がある。 |